

5. 参考資料

- ・ 河内長野市教育大綱・令和2年度教育推進プラン 施策の体系
- ・ 河内長野市教育委員会活動（令和2年度実施事業） 最重点項目一覧
- ・ 河内長野市教育立市宣言

河内長野市教育大綱

河内長野市教育推進プラン

基本方針

【基本方針Ⅰ】
生涯にわたる学習の基礎となる知・徳・体の調和がとれた「生きる力」を育みます

【基本方針Ⅱ】
郷土「ふるさと河内長野」に誇りを持ち、大切に育てる態度を育て、世界へも目を向ける人材を育成します

【基本方針Ⅲ】
幼児期から青少年期まで、継続的・安定的に教育の質の向上を図る取組みを推進します

【基本方針Ⅳ】
地域総ぐるみで子どもを守り育む地域社会の実現をめざします

【基本方針Ⅴ】
安全・安心で、質の高い教育環境を維持・充実します

【基本方針Ⅵ】
生涯を通じて学び続け、学びの成果を活かすことができる場と機会を充実します

基本理念 めざす姿

ふるさとのつながりによる豊かな学び
～輝く人づくりのために～

学校を地域の学びの核とした教育総合コミュニティの構築をめざします

教育の重点目標

重点目標 1	確かな学力の定着
重点目標 2	豊かな情操と道徳心の定着
重点目標 3	健やかな身体づくりの充実
重点目標 4	人権尊重の精神の涵養
重点目標 5	支援教育の充実
重点目標 6	食に関する指導の充実
重点目標 7	伝統・文化等に関する教育の推進
重点目標 8	英語教育やICT環境等を活用した特色ある活動の充実
重点目標 9	多文化共生への支援
重点目標 10	歴史文化遺産の保存・継承と活用
重点目標 11	保幼小連携による幼児期の教育の充実
重点目標 12	豊かな未来を築く力を育む小中一貫性のある指導体制の充実
重点目標 13	家庭・地域との協働による学校づくりの推進
重点目標 14	青少年の健全な成長を支援する体制づくり
重点目標 15	子どもたちの放課後の育ちの保障
重点目標 16	家庭の教育力の向上
重点目標 17	地域総ぐるみで子どもを守り育む環境づくり
重点目標 18	安全・安心な学校施設の維持・充実
重点目標 19	学校教育を支える教育環境の維持・充実
重点目標 20	文化活動の活性化
重点目標 21	市民のニーズに応じた学びの場や機会の提供と市民の学習活動支援体制の充実
重点目標 22	スポーツ施設の充実と生涯スポーツ活動の推進
重点目標 23	社会教育の推進
重点目標 24	子どもたちや市民の読書活動の推進
重点目標 25	図書館や公民館図書室の充実

教育の重点施策

重点目標	令和2年度の重点目標ごとの主な取組み	※担当課
1	1.言語能力の育成の充実 2.教員の授業力向上 3.「わかる授業」と「学び合う学習集団づくり」の推進	②
2	1.学校・家庭・地域が一体となった道徳教育の充実 2.道徳科の授業の充実	
3	1.子どもたちの体力向上への取組み 2.中学校 運動部活動について	
4	1.基本的人権の享有を保障する教育の推進(小中一貫した人権教育カリキュラムの充実) 2.学校が安心できる居場所となる集団づくり	
5	1.「ともに学び ともに育つ」インクルーシブ教育の推進 2.一貫した支援のための連携の推進 3.基礎的環境整備と合理的配慮の充実	
6	1.安全で安心できる学校給食の推進 2.食育推進計画と連動した食育の推進	
7	1.郷土の歴史や文化・伝統に関するふるさと学の推進 2.古典に関する学習の充実	⑤
8	1.NETと中学校英語教員を活用した小学校教員の英語力・授業力向上 2.小中学校における4技能(聞く・話す・読む・書く)を重視した英語教育の充実 3.テレビ会議システムを活用した海外との交流授業の推進 4.ICTの効果的活用による授業改善の推進や情報活用能力の育成	
9	1.国際化に対応できる人材育成 2.幅広い国際交流の推進 3.多文化共生のまちづくり 4.国際化・多文化共生ビジョンの推進	⑤
10	1.指定文化財の保存・継承の推進 2.未指定文化財の調査の実施 3.歴史文化遺産の活用の推進	③
11	1.保幼小連携の充実と「河内長野市幼児教育推進指針」をふまえた取組みの推進 2.障がいのある幼児のスムーズな就学に向けての取組みの推進	②
12	1.「めざす子ども像」の共有と学力向上を柱とした小中一貫教育の推進 2.教育効果の高い学校のあり方についての研究の推進	
13	1.学校運営協議会の充実 2.教育コミュニティづくりの推進	④
14	1.青少年を育む地域での活動、交流機会の深化 2.青少年の健全な成長を支援する体制づくり 3.通学路等の安全確保や見守り活動の実施	
15	1.放課後児童会の適切な運営 2.新・放課後子ども総合プランの充実	
16	1.家庭教育講座や親学習などの学習機会の提供 2.市民主体による「親力推進協議会」の活動支援	
17	1.学社連携・融合事業の推進 2.地域学校協働活動推進事業の実施 3.子どもの体験活動機会の提供	①
18	1.学校施設の非構造部材の耐震性の推進 2.学校施設のトイレの洋式化・乾式化整備の推進 3.学校施設の老朽改修の推進 4.小学校校門の安全管理の推進	
19	1.教育情報ネットワークシステムの充実及び運営管理 2.「GIGAスクール構想」事業の推進 3. 学校図書館の充実	
20	1.古典に関する普及啓発事業の充実 2.河内長野市文化祭の展開 3.指定管理者制度による文化振興事業の推進 4.アウトリーチ事業の拡充	⑤
21	1.河内長野市民大学「くろまる塾」を中心とした生涯学習の推進 2.市民の自主的な学びの場や機会の充実 3.生涯学習情報の発信強化 4.生涯学習相談体制の整備 5.多様な活動の場の確保 6.指定管理者制度による生涯学習事業の推進	
22	1.スポーツ普及啓発事業の実施とスポーツ活動の普及・振興 2.指定管理者によるスポーツ施設の円滑な運営 3.シティマラソン大会開催に向けた検討	
23	1.社会教育の推進 2.社会教育委員会及び公民館運営審議会の開催に向けた検討	
24	1.子ども読書活動推進計画の推進 2.市民の読書活動を支援する取り組みの推進 3.地域や市民との連携による読書活動の推進 4.図書館資料の活用促進	⑥
25	1.読書週間や読書活動の推進 2.言語力向上司書職員による学校図書館の環境整備と国語力向上の取組み	②
25	1.高度情報化に合わせた課題解決型図書館としてのサービスの構築 2.公民館図書室・自動車文庫の資料整備など読書環境の拡充	⑥

※①教育総務課 ②教育指導課 ③文化財保護課 ④地域教育推進課
⑤文化・スポーツ振興課 ⑥図書館

河内長野市教育委員会活動(令和2年度実施事業) 最重点項目一覧

重点目標	重点目標ごとの主な取組み	取組みの内容	教育の現状(案)掲載頁
1 確かな学力の定着	3. 「わかる授業」と「学び合う学習集団づくり」の推進	言語活動の充実に係る校内研修の推進や1人1台学習者用端末を効果的に活用した授業づくりの推進に向け、学力向上担当者会及びICT活用担当者会を開催し、教員研修を実施した。学習指導要領の柱である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、学力向上担当者研修(研究授業・討議会等)を実施した。市内全校において、これまでの全国学力・学習状況調査の結果に基づく学力向上推進計画書の作成を推進し、計画書に沿って組織的に学力向上に取り組んだ。また、家庭学習の手引等を作成・配布し、家庭学習の定着を図る取組みを進めた学校が増加した。同一中学校区内の小中学校間で、連携を深め、中学校からは英語の乗り入れ授業を行うことにより、小中学校の教員が、児童・生徒それぞれに対する理解を深めたことで、効果的な教科指導法や学習規律の確立を進めることができた。各校の課題に応じて、全教科にわたり、複数の情報を関連付けて答えを導き出す課題に取組ませたり、目的に応じて自分の考えを書く場面を設定し説明する活動を工夫しながら積極的に取り入れたりし、主体的・対話的で深い学びのある授業の実現を推進した。	24
8 英語教育やICT環境等を活用した特色ある活動の充実	2. 小中学校における4技能(聞く・話す・読む・書く)を重複した英語教育の充実	全市立小学校教員・中学校英語科教員対象の英語研修を実施し、教員のスキルアップを図ることで、コミュニケーション場面を取り入れた授業を行う教員が増加した。また、テレビ会議システムを活用した国際交流を積極的に推進することで、国際化に対応する力の基礎となる英語に親しむ機会や、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができた。小学校英語の教科化に伴い、教員研修を実施するとともに、中学校区ごとに公開授業を行い、外部からの意見を取り入れることで教職員の指導力向上を推進した。市内全小学校6年生のクラスにNETを複数名派遣し、「モバイル英語村」を実施した。NETの説明や会話は、オールイングリッシュで行い、児童一人ひとりが英語でコミュニケーションを取る機会を設けた。公益財団法人日本英語検定協会主催の実用英語技能検定の中学3年生の受験に対して、受験する生徒の検定料を市が負担することにより、外部調査による英語能力評価を各生徒が得る機会を設け、英語力及び学習意欲の向上を図った。	43
10 歴史文化遺産の保存・継承と活用	3. 歴史文化遺産の活用の推進	令和元年12月に策定した文化財保存活用地域計画では、教育分野・観光分野・景観分野・地域づくり分野など多方面において、歴史文化遺産の活用を推進し、市民の郷土愛を育むとともに、地域社会の活性化をはかることとしており、令和2年度は以下の取組みを行った。教育分野での活用に関しては、郷土歴史学習事業を市立小学校13校の1年生～6年生・市立中学校3校の1年生・市内高校2校の1年生を対象に年間71回の出前授業を行い、三日市小学校、天見小学校、高向小学校、天野小学校の参画を得て、子ども文化財解説や校区の文化財の保全活動などの取組みを行った。観光分野の活用に関しては、6月19日付で新たな日本遺産として文化庁から認定を受けた「女人高野」について、「女人高野日本遺産協議会」に参画し、日本遺産ストーリー構成要素の調査研究や、観光資源としてPRを行った。景観分野の活用や地域づくり分野での活用に関しては、地域住民とワークショップ等を行うなど密接な連携が必要になることから、コロナ禍で十分な事業展開が出来なかった。	50
15 子どもたちの放課後の育ちの保障	1. 放課後児童会の適切な運営	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生(1年生から6年生)に対し、保護者に代わって適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的に実施。令和2年度は、計30クラス体制となったが、待機児童を出すことなく運営を行った。また、放課後児童会の平日夕方の開所時間の1時間延長と、土曜日、夏休み期間等の開始時間の30分の前倒しを継続した。また、前年度に引き続き1月4日・5日の開設を行い、安全で安心な児童の居場所の確保の充実に努めた。児童会の運営を担う放課後児童会支援員については、会計年度任用職員を配置し、年間実施計画に基づく研修を定期的に実施(月1回程度)することで資質の向上に努めた。また、障がいの程度に応じて、会計年度任用職員を児童会に加配し、障がい児に対するきめ細やかな支援を行った。新型コロナウイルス感染拡大予防対策の為実施された4月から6月までの小学校臨時休校時において、午後1時から放課後児童会の運営を行ったほか、新型コロナウイルス感染予防の為、放課後児童会を1回も利用しなかった保護者に対しては、放課後児童会負担金を減免する措置を実施した(なお、学校においては、放課後児童会入会者などを対象に、学校施設にて児童会開始までの預かり事業を実施した)。	68
18 安全・安心な学校施設の維持・充実	1. 学校施設の非構造部材の耐震化の推進	学校施設の非構造部材(窓ガラス、外壁等)について、地震による飛散・落下等を防止し、児童生徒等の安全を確保するため、今年度については、石仏小学校、川上小学校、美加の台小学校、南花台小学校の工事を実施し、全小中学校施設の非構造部材の耐震対策工事が完了した。	77
19. 学校教育を支える教育環境の維持・充実	2. 「GIGAスクール構想」事業の推進	コロナ禍における緊急事態宣言、学校の臨時休業等を受け、児童生徒1人1台のPC整備を急ぎ進め、令和2年10月に全ての整備を完了し、学校の授業での積極的な活用や、持ち帰り学習の練習等を実施した。	80
22 スポーツ施設の充実と生涯スポーツ活動の推進	3. シティマラソン大会開催に向けた検討	令和元年は開催方法の見直しのため休止し、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となりましたシティマラソン大会ですが、令和3年度の実施に向け、運営体制や実行委員会の形態を見直し、市内外から集客して地域経済を活性化させるイベントとして、メイン会場を関西サイクリススポーツセンターに移し、滝畑ダムを周回する新たなコースを設定し、実施に向けた準備を整えました。	92
23 社会教育の推進	1. 社会教育の推進	地域における社会教育を推進するための拠点である公民館を今後も維持していくため、公共施設再配置計画や学校教育のあり方の方針を踏まえ、学校と公民館の複合化を進めます。令和2年度は、加賀田公民館と加賀田小学校の複合化を先行的モデルとして進めるため、市議会の了承を得て、加賀田公民館地区運営委員会や加賀田小学校運営協議会、PTAなどへの概要説明や意見聴取を行い、前向きに進めていくことのできる了承を得ました。	99
24 子どもたちや市民の読書活動の推進	1. 子ども読書活動推進計画の推進 4. 図書館資料の活用促進	1. 「河内長野市第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境に関わる市内の各関係・団体・ボランティアと連携し、おはなし会等の様々な読書推進事業を行った。また、第3次計画が5年の計画期間を満了するにあたり、計画の改定作業を行い、令和3年3月に第4次計画を策定した。図書館内に英語多読本のコーナーを整備し、国際交流協会との共催で「英語のおはなし会」を開催するなど、英語学習のための資料の充実や英語に親しむ機会の提供に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館時にも、放課後児童会28箇所へ2、350冊の緊急バック貸出しを行うなど、配送による積極的な貸出しもを行い、子どもたちの読書活動の推進に努めた。4. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できなかった歴史講座を市の公式YouTubeチャンネルにおいてYouTube歴史講座「鬼住村と鬼伝説」の配信を行った。	103
25 図書館や公民館図書室の充実	1. 高度情報化に合わせた課題解決型図書館としてのサービスの構築	新しい生活様式に対応したサービスや非来館型サービスの拡充として、市内在住者や市内に通勤または通学する人を対象とした電子図書館サービスを導入し、読書バリアフリーに対応した読み上げ機能付きの電子書籍を中心に購入したほか、河内弁辞典『南河内ことば辞典 やいわれ!』や、市教育委員会が発行した河内長野の民話シリーズなどの郷土資料をデジタル化して公開した。図書館システムと連携し、利用者カードがあれば、すぐに利用できるようにした。利用傾向としては、60代、70代、40代の順に貸出利用が多かった。 電子図書館蔵書冊数 一般書7,965点 児童書275点 合計8,240点 電子図書館利用状況 ログイン数6,416件 貸出点数2,594点 予約点数869点 閲覧点数7,848点	109

河内長野市教育立市宣言

前文

河内長野市は、美しい自然、豊かな伝統や文化に包まれたまちとして歴史を築くとともに、市制施行以来、さまざまな都市基盤の充実に努めてきました。

日本の社会は、人口の減少や少子高齢化の到来の中で、技術革新、産業構造の変化、情報化、国際化などがよりいっそう進展した知識基盤社会へと移行していきます。

このような大きな変化の中であって、一人ひとりの健康で充実した人生のため、市民自らの意思と行動で、学びの場や機会を創出する生涯学習社会の構築が必要です。

そして、「わがまち河内長野」の活力を維持・充実させ、まちの魅力をさらに高めるためには、人々の根源的な営みである教育に大きな力を注ぎ、地域社会を再生させることを通じて、都市基盤を、潤いと魅力と夢があふれる生活基盤へと向上させなければなりません。

私たちは、教育が果たすべき役割を自覚し、人々が創り上げた教育の理念や目標をふまえ、市の発展、まちづくりの柱として教育を据え、その振興に向けて、市民総意のもとで協働して取り組むため、ここに教育立市宣言を行います。

宣言

私たちは、未来の宝として、学ぶ意欲に富み、心やさしくたくましい子どもたちを育てます。

私たちは、人を大切にする人権感覚の豊かな子どもたちを育てます。

私たちは、家庭の力、地域の力、学校の力など、市民の力のつながりを大切にし、市の未来を担う人となります。

私たちは、わがまち河内長野の伝統や文化を大切にし、ふるさとや地域を愛する市民となります。

私たちは、豊かな学びの場のもとに、生涯にわたって学び続け、自らの人生を充実させるとともに、学びの成果を活かして社会に貢献します。

